

会員交流委員会事業計画

委員長 小嶋 宏志
副委員長 市川 裕光
副委員長 塚田 博
幹事 小寺 裕

<基本方針>

人間は暮らしの拠点を共有し、互いの縁を見つけあうことにより、人と人とのつながりや一体感を生み出し、コミュニティーを創りながら進化した動物だと言われます。(社)上越青年会議所を一つのコミュニティーとして捉えた場合、目的である「明るい豊かな社会」の実現の為に、LOMに所属し共に活動をする100余名の仲間が、義務的な活動や交流を行っているのでは本質は追求することはできません。互いの活動を真に理解し、自らが積極的に交わる交流・想いの共鳴なくしては目的の実現はありえないと考えます。

本年度はまず、LOMの屋台骨である会員数の確保を図る、会員拡大活動に取組みます。全国的なJC会員数の減少傾向がバブル経済の崩壊後続いております。この問題は(社)上越青年会議所においても今後のLOM運営の死活問題だと捉え、新たな取組みとして、LOM全体を巻き込んだ会員拡大実施組織の立ち上げを行います。当委員会では実施組織の中核となり、JC運動に協働いただける会員を一人でも多く増大させ、LOM全体を巻き込んだ会員拡大活動「会拡」を推し進めます。次に、メンバー一人ひとりの顔と顔を付き合わせた交流を目指すべく、JC運動において、会員交流の原点の場とも言える例会運営に今一度重きを置いて行きます。LOM内全メンバーが同じ場所・同じ時間を共有できる月一度の例会セレモニーにおいて、本来持つ重みや礼儀・礼節を大切に、会員交流委員会が牽引役となりメンバーの想いを結集させた、“和”をテーマにした一体感のある設営を行います。さらには、LOM同士の“和”の連携として、広域的なLOM同士の各種様々な交流会を設営します。LOM間交流を通じ、近隣LOMとのさらなる連携を深め、ひいてはこの近隣地域相互の広域連携を生み出すきっかけとなるような交流を目指します。

先行きの見えない不安な経済状況「こんな時代」だからこそ、本音と本音をぶつけ合える関係性が重要です。メンバー相互の“和”が総結集する会員同士の交流を目指すべき姿と据え、メンバー同士が深い仲間意識を強めることができ、想いを共有し、絆を深め、友情が数珠繋ぎに繋がる姿を目指して活動して行きます。

委員会職務分掌<事業内容>

1. メンバーの和を重んじた例会セレモニーの開催
2. 1、8、12月担当例会の開催
3. R I N X - 4 交流会の開催
4. 第6エリア交流会の開催
5. O B との交流会の開催
6. 戦略的な会員拡大(会拡)の実践